

まえがき

私は、子どもたちが勉強するときに少しでも背中を押したいと思い学習塾の先生の道を選びました。私は自分自身の経験から、勉強だけ一生懸命に取り組んでもなかなか成績が伸びにくいと感じていました。そのため、学習塾の先生として同じ経験を子どもたちにしてほしくないと思い、授業を通してさまざまなことを伝えるようにしています。

子どもの学習について悩まれたことはありませんか？ きっとこの本を手にとっている方は悩まれた経験があると思います。“勉強の話がなければ親子関係が良好なご家庭はたくさんあると思います。しかし、子どもが成長するにつれて将来のことを考えると、どうしても勉強に対して言いたいことが増えてくるものです。

今回、長年教育現場で多くの子どもたちと向き合ってきた経験から、子どもたちとのコミュニケーションにたくさんの成績UPのヒントが隠されているように感じました。そこで、成績の伸びやすいタイプの子と伸びにくいタイプの子では何が違うのかを考えるようになりました。その中で、いくつかの経験

を基に子どもたちと関わりながら効果的なコミュニケーションの取り方についてメソッドを確立しました。子どもたちには、それぞれの個性があります。その個性を伸ばしながら、一人ひとりにとつてベストな学習法を提供することができるようになってきました。その結果、子どもたちの成績は伸び、志望する高校・大学へ進学することができました。受験勉強を通して大人になっても困らない考え方も身につけてほしいと願っています。

本書では、その経験の中から実際にあつた私と子どもとのやり取りを中心に紹介させてもらっています。大人や保護者の声かけひとつで子どもの受け取り方は変わります。また、子どもの口癖の中には、指摘するポイントがたくさん隠されています。そのポイントを逃さずにキャッチすることが、成績UP・志望校合格への近道になります。子どもの心の声を聞き、対応することによって親子関係を良好にし、勉強に対してより集中して取り組める環境を手にしてほしいと思います。